

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 57 回 リスク専門部会 議事録

1. 日 時：2021年8月6日（金）13：30～17：30

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）高田部会長，桐本副部会長，松本幹事，倉本（審議案件途中退席），栗坂，佐藤，
曾根田，高田，高橋，武部，千歳，中島，益子，丸山，森山，吉田（16名）
（代理出席）齋藤 寿輝（東京電力／今井委員）（1名）
（欠席委員）青木，糸井，岡本，竹内（4名）
（委員候補者）国政 武史（関西電力），山中 勝（日本原子力発電）（2名）
（常時参加者）菅谷（1名）
（常時参加者候補）川口 渉（電力中央研究所）（1名）
（欠席常時参加者）鈴木，小城，西村，堀田（4名）
（説明者）【リスク専門部会】桐本副部会長
【レベル 1PRA 分科会】牟田主査，桐本副主査，橋本幹事
【レベル 3PRA 分科会】津崎副主査，木村幹事
【レベル 2PRA 分科会】成宮副主査，濱崎幹事
【地震 PRA 作業会】根岸幹事，齋藤幹事，成宮委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員
【JIWG コーディネータ】川口常時参加者（延べ 15 名）
（事務局）田老，牧野，正岡（3名）

4. 配付資料

- RKTC57-00 第 57 回リスク専門部会議事次第（案）
RKTC57-01 第 56 回リスク専門部会議事録（案）
RKTC57-02 人事について
RKTC57-03-1 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針
（レベル 1 PRA 編）202X” 新規標準原案の本報告について
RKTC57-03-2 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル 1 PRA 編）
202X” 原案
RKTC57-03-3 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する指針（レベル 1 PRA 編）
202X” 原案
RKTC57-04 “原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 3PRA 編）：2018” の
改定について
RKTC57-05-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2 PRA 編） 201X” 津波への適用範囲拡張の本報告に関する決議投票の結果
について
RKTC57-05-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2PRA 編） 201X” 津波への適用範囲拡張【決議投票結果の対応】
RKTC57-05-3 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2PRA 編） 201X” 標準原案（完本）
RKTC57-05-4 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2 PRA 編） 201X” 別紙-2標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
RKTC57-06-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2 PRA 編） 2021” 地震への適用範囲拡張の標準発行について
RKTC57-06-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準

(レベル 2 PRA 編) 2021” 標準 (完本)

- RKTC57-07-1 地震PRA標準2015改定にかかる現状と今後の予定
- RKTC57-07-2 原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：20XX
- RKTC57-07-3 リスク専門部会等コメント対応表
- RKTC57-08 標準における基準と指針の定義，リスク専門部会における標準の階層化の整理
- RKTC57-09 JIWGメンバーリスト (変更案)
- RKTC57-10 正誤表の管理強化，改定標準への確実な反映について
- RKTC57-11 分科会活動状況

参考資料

- RKTC57-参考 1 リスク専門部会委員名簿
- RKTC57-参考 2 リスク専門部会出席実績

講習資料

- RKTC57-講習資料 標準委員会における倫理について

5. 議事内容

(1) 倫理教育

2021年度の倫理教育は、6月2日の第84回標準委員会において実施した。専門部会では、多くの委員は標準委員会に参加しているが、部会内での議論はされていないことから、倫理教育での問いかけを中心に議論した。

(2) 出席者確認

事務局から開始時、委員21名中、17名が出席しており、成立に必要な定足数（14名以上）を満たしている旨が報告された。

(3) 前回議事録（案）について（RKTC57-01）

前回議事録（案）について配布された内容で承認された。

(4) 人事について（RKTC57-02）

事務局からRKTC57-02に基づき、専門部会の人事について以下の提案があり、委員の退任等が確認され、審議の結果、専門部会委員の選任・再任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

国政 武史	関西電力
山中 勝	日本原子力発電

(2) 委員再任

佐藤 親宏	テプコシステムズ	2021. 11～2023. 10
-------	----------	-------------------

(3) 常時参加者登録承認

川口 涉	電力中央研究所
------	---------

2. 確認事項

(1) 委員退任

五十嵐 祐介	日本原子力発電	2021. 06. 30
佐々木 泰裕	関西電力	2021. 06. 30

(2) 委員所属変更

高田 孝 日本原子力研究開発機構 → 東京大学 2021. 07. 01

(3) 常時参加者登録解除

砂田 英行 電力中央研究所 2021. 06. 30

藤崎 恭史 関西電力 2021. 06. 30

【分科会】

○レベル 1PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

竹次 秀一 関西電力

2. 確認事項

(1) 委員退任

菅原 淳 関西電力 2021. 07. 01

(2) 常時参加者登録解除

藤崎 恭史 関西電力 2021. 06. 30

竹次 秀一 関西電力 2021. 07. 06

○レベル 2PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

鈴江 和昌 関西電力

2. 確認事項

(1) 委員退任

佐々木 泰裕 関西電力 2021. 06. 30

(2) 常時参加者登録解除

藤崎 恭史 関西電力 2021. 06. 30

芦谷 竜門 九州電力 2021. 06. 30

(3) 常時参加者登録承認

杉田 寛幸 九州電力

○レベル 3PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

池田 浩 伊藤忠テクノソリューションズ

2. 確認事項

(1) 委員退任

石川 智之 伊藤忠テクノソリューションズ 2021. 06. 15

(2) 常時参加者登録承認

成宮 祥介 原子力安全推進協会

○外的事象 PRA 分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

国政 武史 関西電力

齋藤 寿輝	東京電力ホールディングス	
2. 確認事項		
(1) 委員退任		
佐々木 泰裕	関西電力	2021. 06. 30
綿引 善徳	東京電力ホールディングス	2021. 07. 27
(2) 常時参加者登録解除		
細川 雄作	関西電力	2021. 06. 30

○PRA 品質確保分科会

1. 確認事項

(1) 常時参加者登録承認

竹次 秀一 関西電力

(5) 【報告・審議】 (RKTC57-03-1～RKTC57-03-3)

“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針(レベル1 PRA 編) 202X” 新規標準原案の本報告について

(担当：レベル1PRA分科会 牟田主査, 桐本副主査, 橋本幹事)

レベル1PRA分科会 牟田主査, 桐本副主査, 橋本幹事から RKTC57-03-1～RKTC57-03-3 に基づき, 題記規標準原案についての報告があり, 審議の結果, 30 日間の決議投票を行うことが決議された。主な質疑, コメント等は以下のとおり。

C：名簿等の薄字になっているところは制定後に更新する箇所である。

C：RKTC57-03-1 での追加した指針附属書名が標準原案と異なっているので修正のこと。

(6) 【報告・審議】 (RKTC57-04)

“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル3PRA 編)：2018” の改定について

(担当：レベル3PRA分科会 津崎副主査, 木村幹事)

レベル3PRA分科会 津崎副主査, 木村幹事からRKTC57-04に基づき, 題記改定内容についての説明があり, 審議の結果, 次回標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

C：スケジュールについて, 前倒しを検討のこと。

A：8/27 の分科会にて検討の上, 標準委員会で報告する。

(7) 【報告・審議】 (RKTC57-05-1～RKTC57-05-4)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準 (レベル2 PRA編) 201X” 津波への適用範囲拡張の標準原案に関する決議投票結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局, レベル2PRA分科会 成宮副主査, 濱崎幹事)

事務局から RKTC57-05-1 に基づき, 題記標準原案に関する決議投票の結果, 意見付き保留があったため可決に至らなかったことが報告された。引き続きレベル2PRA分科会 成宮副主査, 濱崎幹事から RKTC57-05-2～RKTC57-05-4 に基づき, 受け付けた意見への対応についての説明があり, 意見付き保留が解消されたため, 次回標準委員会へ報告することになった。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

Q：意見付き保留の委員は, この対応を前提にして意思表示をお願いしたい。

A：説明された対応がとられるのであれば, 賛成します。

(8) 【報告】 (口頭)

“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” 転載許諾手続きの状況等を踏まえた「制定の承認 (第83回標準委員会)」版からの変更点について

(担当：事務局)

事務局から口頭で、題記標準については、前々回の第 83 回標準委員会（3 月 3 日開催）で制定・発行が承認されたが、前回の第 84 回標準委員会（6 月 2 日開催）にて変更点についての報告があり、再度審議を行った結果、再度承認・発行が決議された旨の報告があった。

(9) 【報告・審議】 (RKTC57-06-1, RKTC57-06-2)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 2 PRA 編）2021” 地震への適用範囲拡張の標準発行について

(担当：レベル 2PRA 分科会 成宮副主査，濱崎幹事)

レベル 2PRA 分科会 成宮副主査，濱崎幹事から RKTC57-07-1～RKTC57-07-3 に基づき、題記標準発行についての説明があり、審議の結果、次回標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：編集上の範囲内と考えているが、標準委員会への報告は必要か？

A：是非報告していただきたい。

C：標準委員会への報告は、修正前後の比較表も必要になるので、準備をお願いしたい。

(10) 【報告・審議】 (RKTC57-07-1～RKTC57-07-3)

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” の改定中間報告文案（本文規定のみ）について

(担当：地震 PRA 作業会 根岸幹事，齋藤幹事，成宮委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員)

地震 PRA 作業会 根岸幹事，齋藤幹事，成宮委員，高橋委員，原口委員，藤岡委員から RKTC57-07-1～RKTC57-07-3 に基づき、題記基準の改定中間報告についての説明があり、審議の結果、30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：地震ハザードの箇条に注意書きのような記載があるが？

A：作成段階で覚えとして記載したものが残っていた。削除する。

Q：引用規格は年号を記載しないというルールだと思うが？

A：年次は削除する。

C：今後の予定として附属書・解説については今後作成していく。

(11) 【報告】 (RKTC57-08)

標準における基準と指針の定義，リスク専門部会における標準の階層化の整理に関する当専門部会意見募集で受け付けた意見への対応について（前回報告後の対応）

(担当：事務局，リスク専門部会 桐本副部会長)

リスク専門部会 桐本副部会長から RKTC57-08 に基づき、題記意見募集で受け付けた意見への対応についての説明があった。基準と指針の定義や階層化の関連の記載については、現在行われている標準委員会基本戦略検討チームで行われている活動基本方針の見直しに反映が検討されており、今後は標準委員会の戦略検討タスクで他の専門部会の意見も交えて議論されていくことが報告された。

(12) 【報告・審議】 (RKTC57-09)

JIWG の活動状況・JIWG メンバー

(担当：リスク専門部会 JIWG 川口コーディネータ)

JIWG コーディネータ 川口常時参加者から RKTC57-09 に基づき、題記活動状況とメンバーについての報告があり、審議の結果、本内容を承認することが決議された。また、9 月の JCNRM への報告内容について、資料を別途メールにて確認いただく旨了承された。

(13) 【報告】 (RKTC57-10)

正誤表の管理強化，改定標準への確実な反映について

(担当：事務局)

事務局から RKTC57-10 に基づき、題記について説明があり、改定標準への確実な反映のため、“標準委員会審議細則”及び“標準作成ガイドライン”の改定について前回の標準委員会に提案し、改定案をタスク幹事に諮ったが、“標準作成ガイドライン”の改定より“標準誤記載ガイドライン”の改定の方が適正ではとの意見があり、次回タスクで審議することになったことが報告された。

(14) 【報告】(RKTC56-11)

リスク専門部会 分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から RKTC56-11 に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

6. その他

- ・事務局から、標準策定5か年計画の更新について、後日依頼する旨の説明があった。
- ・次回は、2021年11月11日(木)13:30からに決定した。

以上